

4 施策の成果水準とその背景

(1) 時系列比較(令和2年度との比較)

- ☐ 成果がかなり向上した。
- ☐ 成果がどちらかといえば向上した。
- ☐ 成果はほとんど変わらない。(横ばい状態)
- ☒ 成果がどちらかと言えば低下した。
- ☐ 成果がかなり低下した。

(2) 近隣他市との比較(水戸市、ひたちなか市等との比較)

- ☐ 近隣他市と比べてかなり高い水準である。
- ☒ 近隣他市と比べてどちらかと言えば高い水準である。
- ☐ 近隣他市と比べてほぼ同水準である。
- ☐ 近隣他市と比べてどちらかと言えば低い水準である。
- ☐ 近隣他市と比べてかなり低い水準である。

*上記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
 ・社会情勢の変化や少子化、家庭環境の多様化等、様々な理由から、子ども会への加入率が令和2年度の30.1%から令和6年度は20.7%と9.4%低下した。
 ・小学5・6年生を対象としたふるさと教室では、参加者数は横ばいであるが、協力して学習できた割合の数値が令和3年度94.7%から令和6年度は85.0%と9.7%低下した。(令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、ふるさと教室を実施できなかったため、令和3年度実績値と比較)

*上記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
 子ども会加入率は、市街地ほど減少する傾向にあるが、市全体としては令和6年度実績20.7%であり、近隣他市町村と比べてやや高い水準である。
 那珂市 : R06(20.7%) R05(26.9%) R04(29.1%)
 水戸市 : R06(11.9%) R05(21.8%) R04(23.8%)
 城里町 : R06(10.0%) R05(5.5%) R04(10.0%)
 東海村 : R06(15.9%) R05(23.0%) R04(23.1%)
 常陸太田市 : R06(8.9%) R05(9.2%) R04(8.5%)
 ひたちなか市 : R06(44.0%) R05(52.2%) R04(61.2%)

5 施策の現状と課題

① 施策の現状(当市の特徴、その要因として考えられること等)

・青少年相談員による下校時や地域の実情に応じたパトロールの実施、青少年健全育成協力店舗や各地域活動団体との連携・協力などにより、青少年の健全育成のための環境整備を推進している。
 ・子ども会における令和6年度の加入率は20.7%で、年々減少している。その一方で、「自分が住む地区に子ども会がないけど、子ども会活動をしたい」という声から新たに発足した単位子ども会もある。
 ・習い事や塾、家族で過ごす時間など様々な選択肢があることや少子化などに伴い、PTA活動や子ども会活動を負担に感じている保護者が増加している。
 ・在学中の高校生で構成する高校生会については、市内中学校や近隣高校にポスター掲示するほか、会員を通して加入促進を図り、令和6年度は16人が加入した。

② 施策の課題(基本計画期間を見据えて、どのような課題を解決していかなければならないか)

・体験活動を通して社会性を養い、心豊かに活力ある青少年の育成を図るため、プログラムの更なる充実を図る必要がある。
 ・青少年相談員やまちづくり委員会等を中心とした青少年の健全育成の推進を継続していく必要がある。
 ・単位子ども会の休止等により加入者数が減少傾向にあるため、加入促進・維持を図り、子ども会活動の活性化を推進する必要がある。
 ・家庭教育学級合同学習会は、子育て世代の参加が少ないため、開催方法をはじめとした事業内容の見直しを図る必要がある。
 ・高校生会の会員は、在学中の高校生であることから会員の入れ替わりがあるため、加入促進を継続して行う必要がある。

6 施策の目標設定とその根拠(水準の理由と前提条件)・方針

・子ども会加入率、ふるさと教室で友だちと協力して学習できた割合については、第2次那珂市総合計画後期基本計画(R5～R7)において施策の成果を表す指標として位置づけ、目標値を設定した。
 ・子ども会加入率は、今後も少子化と子ども会離れに伴いますます加入率が低下するものと予測されるが、施策の推進により平成29年度加入率の現状維持を目指し、目標値を46.0%に設定した。
 ・ふるさと教室で友だちと協力して学習できた割合は、学校や学年の違う友達との交流を通して、自主性や社会性を養う力を高めることを目的とし、参加児童全員が協力できたことと実感できることを目指し、目標値を100.0%に設定した。

7 施策の目標達成のための基本事業

基本事業	基本計画期間における取り組み方針	主な事務事業
地域で育てる体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域が一体となって地域の青少年を育てる体制を強化する。 ・放課後や休日における青少年の健全育成や非行防止のため、声かけ運動や相談体制の充実を図るとともに、適切な社会環境づくりに努める。 ・子ども会などによる地域活動や交流を通して、地域における教育の充実を図る。 	青少年相談員設置事業 団体補助事業 (青少年育成那珂市民会議、市子ども会育成連合会)
健全育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性を身につけながらたくましく生きる力を養うため、学びや体験の機会を提供する。 ・子ども会活動などの社会性を身につける活動を支援する。 ・高校生会への加入促進を図り、活動を支援する。 	ふるさと教室開設事業 青少年育成事業 団体補助事業 (青少年育成那珂市民会議、市子ども会育成連合会)
地域や家庭の教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育について正しい知識や情報が得られるよう学習機会の提供や啓発を図る。 ・市と訪問型家庭教育支援員は、小学1年生の子を持つ全家庭を訪問し、子育てに関する不安や悩みを抱える保護者に寄り添い、必要に応じて家庭教育に役立つ情報提供や関係各課・施設へ接続し、保護者への支援を通して子どもたちの健やかな成長を支える。 ・学校やPTA、市民自治組織等と連携を強化し、地域や家庭の教育力を高める。 ・乳児健康相談時にボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、乳児から本に慣れ親しむきっかけづくりを支援する。 	家庭教育支援事業 団体補助事業 (市PTA連絡協議会) ブックスタート事業